

第 2 回 大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会 議事概要

開催日時	令和 5 年 12 月 20 日（水）13 時 30 分～15 時 10 分
開催場所	大阪狭山市立公民館 第二会議室
出席者	辻委員長、清水副委員長、山村委員、陸野委員、津田委員、大塚委員、古城委員、菊屋委員
欠席者	0 名
事務局	行財政マネジメント室室長、行財政マネジメント室室次長、行財政マネジメント室主査、健康福祉部福祉グループ、健康福祉部高齢介護グループ、教育部教育総務グループ、教育部社会教育グループ、パスコ
傍聴席	0 名
案 件	1. 開会 2. 議題 （1）策定委員会等のスケジュール及び予定する主な議題（案） （2）第 1 回策定委員会での主な意見及び議事概要 （3）再配置計画の構成案（たたき台） （4）対象施設の要件整理・検討 （5）その他 3. 閉会
資 料	次第 資料 1 策定委員会等のスケジュール及び予定する主な議題（案） 資料 2 第 1 回策定委員会での主な意見及び議事概要 資料 3 再配置計画の構成案（たたき台） 資料 4 対象施設の要件整理・検討

議 事 の 経 過	
発 言 者	発言の内容
事 務 局	1. 開会 ・ 定刻になったので、第2回大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会を開催する。 ・ 私は総務部行財政マネジメント室室長の高井です。 ・ 本日は年末のお忙しい中ご出席いただきお礼を申し上げます。 ・ 配布資料確認。 ・ 本日の委員会において、清水委員はリモートで参加、古城委員は少し遅れて参加との連絡をいただいているが、現在、過半数の委員がご出席されているので、策定委員会設置規程第5条第2項の規定により、本策定委員会が成立していることをご報告申し上げます。 ・ 設置規則第5条第1項の規定により、策定委員会の議長は委員長が務めることになっているため、以降の議事進行は辻委員長にお願いします。
委 員 長	2. 議案 ・ 年末のお忙しい中ご参集いただきお礼を申し上げます。 ・ それでは議事に移りたい。 ・ 本日は会議終了後に今熊地区の施設の見学を予定している。15時をめぐりに会議を終了、15時半をめぐりに見学を終了したいので、進行にご協力をお願いします。 ・ 議案①策定委員会等のスケジュール及び予定する主な議題（案）について、事務局より説明をお願いします。
事 務 局 委 員 長	（議案1）策定委員会等のスケジュール及び予定する主な議題（案） ・ 資料説明 ・ ただいまの事務局からの説明についてご意見、ご質問等はあるか。 ・ 来年8月にパブリックコメントを実施する。策定委員会は2024年9月までで、ここで再配置計画案を提示することになる。 ・ 特に質問等がなければ、議案②第1回策定委員会での主な意見及び議事概要について事務局より説明をお願いします。
事 務 局 委 員 長	（議案2）第1回策定委員会での主な意見及び議事概要 ・ 資料説明 ・ ただいまの事務局からの説明について、ご意見・ご質問等はあるか。 ・ 学校施設の取り扱いについて「再配置計画の中で、学校と他の施設を同じ土俵で議論するのは違和感がある」との意見があったが、まさにそのとおりだと思っている。一般的な公共施設は市民向けにサービスを提供する場であるが、学校は次の社会を担っていく子どもを育てる場なのでそれを同じ土俵で議論するのはどうかと思う。 ・ 特になければ、議題③再配置計画の構成案（たたき台）について事務局

事務局 委員長	より説明をお願いする。 (議案3)再配置計画の構成案(たたき台) - 資料説明 - ただいまの事務局からの説明についてご意見、ご質問等はあるか。 - まちづくりの観点は大事である。
委員長	- 一般的な公共施設と学校は分けて考える必要がある。案では、「2-2 公共施設の再配置や保全に関する基本的な考え方」の5番目に「学校施設のあり方の検討」がある。学校を公共施設の中に埋蔵させるのではなく、学校は大項目として整理し、議論すべきではないか。学校を極めて優先的に考えているという位置付けでまとめていきたい。 - 学校は子どものための施設であり、働く教員の方々が快適かつきちんと教育できる環境を整えることも重要である。 - 私事にはなるが、昨年10月にニュージーランドから娘が3人の孫を連れて帰国し、長男がこの4月に日本の中学校に入学した。11月にニュージーランドに帰ったのだが、その際、学年主任の先生が関空まで見送りに来て孫を激励してくれた。先生の情熱を感じた。 - 先生の立場を守るということも大事であり、そういう観点から学校はとらえるべきではないか。 - また、子どもが成長するには友達が必要であり、適正な人数や適正な規模に関しては、専門家である教育委員会の意見を受け止めて、どのような学校にするか、検討が必要である。 - 学校を大項目にしたいと考えるが、皆さんはどう思われるか。
事務局	学校園のあり方検討委員会で2年間審議をして、方向性については結論が出て、冊子にして市長に提言していると思うが、教育委員会としては継続して検討を進めているのか。
委員長	- 昨年度、学校園のあり方について示された方針については、次のステップに進むための前段と考えており、再配置計画に落とし込んでいくためには、さらに踏み込んだ検討が必要となるため、教育委員会と調整しているところである。 - 学級数も含め、適正規模に関しては一定の方向性は出ているが、通学区域の検討やソフト面、教育のあり方について調整している。
事務局	- それはこの場で検討するのがよいのか。教育委員会で専門家の方たちが検討していくべきことではないか。 - 事務局としては、市長部局として、教育のあり方については意見を言える立場ではないと考えており、ソフト部分や教育のあり方の部分については教育委員会の中で方向性を示してもらう必要があると考えている。 - それをどの時点で再配置計画に反映していけるのかを協議をしているところである。
委員長	この委員会で方向を決めるのではなく、教育委員会の皆さんと検討、打

委 員 委 員 長	ち合わせを行いながら決めていきたい。 ・時間差があるので全部は決められないかもしれないが、方向性が決まったものは書いてはどうか。 ・教育委員会の意見が大事という前提である。 ・学校は別ということだが、地域の人が学校に集まれるように、学校と公民館を複合化するといった事例もあるのではないかな。
委 員	・和泉市にはつが野学園という小中一貫校ができた。そこには自治会のための部屋もあり、学校が使用しないときは調理室なども地域に開放している。その際には廊下の一部を閉鎖するなど工夫している。そういう形で地域の人にも還元している。 ・「学校園施設のあり方検討について」という項目については、公共施設の中だけで考えるのではなく、市全体で考えることであり、子どもの教育という観点から考えなければならない。 ・公共施設の下にあるものではなく、教育委員会の皆さんと学校を全面に押し出してはどうか。 ・この策定委員会の議論の中で方針が決まるのではなく、教育委員会との調整があると思うので、方向性が定まった部分は書いてはどうか。
委 員	・委員会での話を踏まえて、教育委員会としてどうするかはこれからの話だが、学区の見直しや統廃合など、段階を追って議論して教育委員会で詰めていく、そういう段階ではないかな。 ・教育委員会としてどうするかという議論と並行して、お金の面も大事である。片方だけでは議論ができない。平行して考えていく必要がある。
委 員 長	・その通りだと思う。 ・築年数の古い学校は設備が貧弱である。公共施設として公共施設の中で考えるのではなくて、子どものために設備を整えてあげることが大事、そういう意味で優先的に考えるべき施設である。
委 員	・学校施設だけではなく社会教育施設についても、お金の面や施設設備については市で検討をお願いしている。社会教育委員会議では社会教育全体の中で、施設の機能面に限って議論しているところである。 ・建替えるのであれば複合施設がよいとか、ICT 化も進めるべきではないかなど議論している。建替えの時期や規模等の議論まではしていない。そこは市で考えるところ。それと同じではないかな。
委 員 長	・子どもは未来の宝なので、限りある予算をどこに回すかと考えたときに優先度が高い。その判断が大事だと思っている。 ・もちろん高齢者をないがしろにするのではなく、サービスを維持しながら、子どもの環境をどうするか、平行して考えていく必要がある。そういう難しい状況である。 ・例えば複合化で全体のコストを下げるというのも必要だと思う。 ・和泉市では ESCO（エスコ）事業、電気代を抑えて浮いたお金で次の事業

	を行うなど、細かいことを積み重ねながらお金を捻出している。 ・試行錯誤しながらという状況であり、今後は ICT 化や AI をどう使うかといったことも大きな問題になってくると思われる。 ・紙ベースの本から電子書籍に変わってきているので、そういう状況も踏まえて無駄をどうするか考えていく必要がある。 ・17 ページに大阪狭山市の公共施設の位置が示されているが、学校施設はそれだけの位置図があった方がわかりやすい。大阪狭山市として子どもをどう育てていくかという視点で全体像をつかみやすいと思うが、事務局としてはどうか。
事 務 局	・16 ページ、右の欄で検討と書いている施設が 17 ページの黄色の箇所になる。学校園の中には、3 中学校・7 小学校・3 幼稚園・1 こども園があり、これから検討が必要な施設になる。確かに分けた方が見やすい。 ・今後、仕分けをしていくのであれば、そういうマップを載せていきたい。
委 員 長	・2－3 として「学校園施設のあり方の検討について」と入れてはどうか。 ・検討のほどよろしく願います。
事 務 局	・子ども関係の施設となると、放課後児童会なども該当してくるが、学校園の基本方針の対象となる施設は小学校・中学校・幼稚園・こども園だけなので、それらも分けた方がよいのか。それとも子ども関係はまとめた方がよいのか。
委 員 長	・今後、打ち合わせをさせてもらいたい。
委 員	・教育委員会の中では学校教育施設とその他の施設に分けているので、そういった分け方にすると理解が早いのではないか。 ・施設を目的ごとに 3 つか 4 つ程度に分けて、その中で短期・中長期に分けると理解が早いのではないか。 ・学校教育系の建物に関しては、昨年度に方針の冊子も作成した状況で、またここに入れ込んで話し合いをするということになるのか。
委 員 長	・冊子は作成したが、将来的なビジョンは明確ではない。 ・公共施設の再配置は、大阪狭山市の将来の形を考える中で、公共施設をどのように再配置していくか。 ・その中で学校をどう配置するかという問題にもつながってくるので、公共施設の再編に学校を入れるのはわかるが、学校は一般の公共施設とは違うという立場である。 ・そういう意味では、まち全体の中で学校をどう位置づけるかも含め、教育委員会の皆さんと議論をしたうえでの話になってくる。
委 員	・小中学校で 10 校ある中で、早急に改善が必要な学校とそうではない学校があるので、一括で同じ土俵に乗せるのではなく、緊急性のある学校を先に取り上げるべきではないか。
事 務 局	・短期や中長期といった実施時期については、学校園以外の施設は一定の方向性を前回策定した再配置方針に書いている。一方で学校園について

委員 事務局	は、適正規模・適正配置の方針は示されたものの、どの施設が急ぎなのか、何年度までに実施するのか、といった具体的な内容が見えていない部分があるので、スケジュール感も含め協議をしているところである。 ・どここの学校が急ぐかは記載していると思うが。 ・早急な対策・対応が必要な学校はわかるが、どの時点でどれを優先的に整備していくかなど、優先順位まではつけられていない。
委員 事務局	・本市の学校園では、児童数・生徒数が増えている学校と過疎化している学校とに二分化されている。増えている学校は早急に改善が必要である。子どもたちが卒業していく前に、早く良い環境で教育ができるようにしなければならない。
事務局	・教育委員会の基本方針の中では、適切な学級数や単学級の課題などが整理され、今後検討の必要があることが示されている。検討した結果をもとに統廃合か、機能集約か、公民館機能を入れるのか、といった議論につながっていくと考えている。 ・現在、学校には誰でも入れるというわけではないが、体育館や運動場は学校開放している事例もあるので、不特定多数が入られるのか、これから検討していくことになると思う。 ・それらの課題をどう解決していくかについては、市長部局では立ち入れないため、教育委員会でしっかり検討して答えを出していただいたうえで、どういうハコモノにするか、どれとどれを足し算するか、もう一步、教育委員会で進めていただき、それを再配置計画の中に落とし込んでいく。これが事務局の考えである。
委員	・現在小2と中2と高2の子どもがいて、小さい頃には近所の東野幼稚園に通わせていたが、ボロボロの幼稚園で、私立の幼稚園が無償化になった頃から園児が減って、10人を切るか切らないかで、毎年のように園が継続できるかどうか綱渡りの状態であった。 ・私立が無償化になり、私立に流れて公立の幼稚園に来る子どもは減っている。そういう状況にある園に通わせていて、施設を改修して園児が増えればよいが、改修しても園児は来ないかもしれない中で、その実情を見てきた。検討もしづらい状況にある園があることも知っておいてもらいたい。
委員長 副委員長	・ハードの状況を見ていくことは必要である。 ・学校施設については、今回の計画の目的とは違う議論が必要なので分けた方がよい。 ・2章は盛りだくさんな印象があるので、13ページまでで2章を終えて、3章で具体的な施設を挙げて方向性を取りまとめてはどうか。例えば、3-1は一般的な公共施設、3-2は学校園にするなど。そうすれば位置図も分けて整理できるのではないか。 ・基本方針において短期に再配置を想定する施設に位置付けられた施設が

事務局	11 施設ある。方向性検討のフローや保全優先度の考え方等は示されているが、具体的に 11 施設がそれぞれどのような評価で短期に再配置を想定する施設に位置付けられたのかがわかりにくい。保全優先度の点数などはどこかで示されるのか。 ・分け方の指標をどこかに出していただくことは可能なかどうか。 ・再配置方針では「こういった手法を用いて検討した」だけで終わっているが、各施設の評価は整理しているので、章立てするか参考資料として添付するかは今後の検討になるが、どういうフローで短期に位置付けたのかの説明はどこかに入れる必要があると考えている。
副委員長	・ぜひお願いしたい。 ・コミュニティセンターは築年数が新しいのに 1 番目に掲げられている。ほかにも優先度の高い施設があるのではないかとこのところ、なぜコミュニティセンターが選ばれたのか、示していただきたい。
委員長	・先ほど副委員長からご提案があったような構成の方がよい。ご検討いただきたい。
委員	・たたき台の 13 ページ、調整中という枠がたくさんあるが、「いつまでに調整」としないと、いつまでたってもまとまらないのではないかと。
委員長	・各部署との調整もあって難しいため、現状は「調整中」として、庁内で随時努力していただくことになるかと思う。
委員	・それはそれでよいのだが、リミットも頭においておかないとダラダラとなってしまうかと心配している。
委員長	・大きな項目の中に学校を入れると、大きな項目で「調整中」は難しいから何か書かなければならない。 ・リミットを設定することは可能なのか。
事務局	・事務局では 2024 年 6 月から 7 月にタウンミーティングを予定している。 ・タウンミーティングにける内容には学校園も含まれてくる可能性があるため、それまでにまとめておかないと、タウンミーティングに市長が出られなくなる。 ・それまでに学校園が間に合わなくてその他の公共施設だけとなると、市民から学校園はどうなっているのか、現状を知っているのかとなり、市長が答えられないことになるので、それまでのタイミングを作り込まなければならぬと認識している。
委員長	・あまり時間がないということか。
事務局	・時間的には悠長なことは言っていない状況である。
委員	・いつまでに建替えるとは言えなくても、「この学校はこの方向で現在検討中」という回答もありにしないと、収拾がつかなくなるのではないかと。
事務局	・まとめ方については、議題④の中でご説明したい。
委員	・学校園の検討の中で、子どもの数が増えてにっちもさっちもいけなくなり、急遽プレハブを建てて対応する、そうしなければ回らないという実

委 員 長	態がある。 ・ 記憶が定かではないが、たしか令和 7 年が児童数のピークで、それ以降は収まっていく、それに合わせてプレハブを建設してしのぐ、ということであったと思う。そういったことが進行している中でこの検討もすることになるので、相当厳しいスケジュールになってくる。 ・ 令和 7 年がピークで、それについては短期的な対応をする。 ・ 人口減少に伴い子どもの数も減っていく中で、全体をどう見るかは別で考えた方がよく、これからはそれがメインになってくる。 ・ 短期に関しては、事務局の皆さん、教育委員会の皆さんも含めて、早急に対応するしかない。
委 員	・ プレハブ以外にも何か検討されていることはあるのか。 ・ 通学区域について言えば、周辺の子どもたちが徒歩で行ける徒歩圏 500 m で、学区は分散している。私も子育てをしている中で、学校は地域のコミュニティの核になっていると思う。 ・ ニュータウンには市外から来た人が多く、地元の集落から今に至っている地域では昔から住んでいる人が多い。そういう特徴があり、それぞれコミュニティがあり、地区の集会所や地域の公共施設がある。 ・ さきほど地図の話があったが、通学圏があってもよい。 ・ 学校では耐力度調査を実施すると聞いている。子どもの数が増えて教室が足りない学校もあれば、空き教室のある学校もあるが、教育委員会として建物の状態を把握できていない状況なのではないか。現状を把握したうえでないと、どの校舎は潰す、ここは建替える、ここは使うなど、ビジョンは描きにくい。 ・ 教育施設は国や府の補助金があり、市単独では難しい。要件に合うかわないかが建物をどうするかという際の大きな視点になる。そういったベースの部分をしっかりとしたうえで、ソフト面を考えてもらいたい。 ・ 時間的に来年のタウンミーティングに間に合うのか。
委 員 長 委 員	・ 各施設の調査で学校関係もデータを作成している。 ・ とにかく極端で、児童数が多い東小学校は現在 915 名で、来年から 20 名ほど増える。それが 4、5 年は続くと見込まれるため急遽プレハブを建てて対応している。その子どもたちが 3 年後には中学校に行くので中学校が溢れてくることも見込まれている状況。 ・ 小学校ばかり緊急としているが、3 年後には中学校がパンクするので、中学校を先にするのか、優先順位を考えていく必要がある。
事 務 局	・ 将来的に、例えば 35 人以下の学級にするなど、ソフト面から充実を図っていくのか。耐力度調査の結果、中性化度合いや建物の老朽度から見ていくのがよいのか。様々な見方がある中で優先順位の付け方を明確にしていく。 ・ 大阪狭山市では、50 年前にハコモノをたくさん建てたこともあるので、

	耐力度調査で目に見えない中性化度合いも見ながら検討していきたいと考えている。
委 員 長	・ベースとしてデータはあるべきだということを申し上げた。
	・耐力度調査までしているかはわからないが、築年数等の基本的な建物データ、現状では目視もされているわけで、建築の専門家であれば状況はある程度わかっておられるだろう。庁内での議論はそれも踏まえて、どうするかという方向になると思う。
委 員	・来年5、6月頃にタウンミーティングということだが、タウンミーティングを行うにあたって、学校も含めた施設の再配置について、市長の考え方はある程度決まっているのではないか。
事 務 局	・決まっていない。
委 員 長	・タウンミーティングの内容だが、すべての小中学校をどうするか、すべての公共施設をどうするか、そこまではまとめきれないと思う。将来的な方向性と、公共施設の中でどこを複合化すれば有効である、コストが下げられるという話にとどまるのではないか。
	・学校や公共施設の建替えを考えると、構想から計画、予算取りも含めて5年から10年にかかると思うので、それを1回のタウンミーティングで決めるのは難しい。来年からすべての学校を建替えるなんてできない。
事 務 局	・事務局で考えている取組内容として、まずは来年3月頃に市民アンケートを実施し、市全体の取組みイメージ、北部や南部などエリアごとに分けて、総合計画で拠点とされているエリアをベースに、公共施設について短期・中長期でどのように取組むかのイメージを描きたい。
	・その上で、短期に取組む施設が11施設あるので、その施設を含むエリアについて、タウンミーティングを実施していきたいと考えている。
	・タウンミーティングでは、市全体の取組を議論するのではなく、市民アンケートなどで得られたデータに基づいて、複合を検討する施設についてご意見をいただきたいと思っている。
委 員	・近大の跡地の調整はまだ決まっていないのか。
事 務 局	・企画グループからは、12月中に跡地取得の企業が選定されると聞いている。取組内容については、事業者が決まってからの調整となるので、現時点ではわからない。
委 員	・例えば、この今熊エリアに集約している公民館や図書館、福祉施設を全部あちらに持っていくという構想が出る可能性もあるのか。
事 務 局	・ほぼないと思われる。
委 員 長	・民間の事業者売却することになるのか。
事 務 局	・そうである。敷地自体は近大が所有しており、その敷地も含めた中で病院施設を残す、それを民間に売却する。
	・市としては、市内の大きな拠点になるので、勝手にやるのではなく、市も意見をしているという立場になるが、民民の話になぜ市が入ってくる

委員 事務局	のかと言われてしまうとどうにもできない。市で買うことになれば話は別だが、そういう状況である。 ・仮の話ではあるが、後継病院については、例えば本市の休日診療所の機能を複合化させるということは、可能性がないとは言い切れないが、今の時点でそういった調整はしていないと聞いている。 ・近大跡地のゾーニング案は3つ提示され、市民アンケートでは商業施設が一番多かったが、そこに公共施設を持ってくるというゾーニング案もあったと思う。
委員 委員 委員 委員長 事務局 委員長	・大手の商業施設ができて狭山に住んでいる人が便利になればよいが、他市から多くの人や車が押し寄せて、結局、住んでいる人が渋滞に巻き込まれてしまうと元も子もないので、一長一短があると思っている。 ・公共施設も民間の施設に賃貸で入ることもできるのではないかな。 ・民間にとってはペイするかどうかであり、ペイする絵しか描かない。 ・病院がなくなると市民の皆さんはかなり困る。 ・売却先が決まるのは12月中か。 ・そのように聞いている。 ・市民の皆さんにとって有効な形になれば一番よい。 ・ほかに意見がなければ、議題④対象施設の要件整理・検討について、事務局より説明をお願いします。
事務局 委員長	(議案4) 対象施設の要件整理・検討 ・資料説明 ・ただいまの事務局からの説明についてご意見、ご質問等はあるか。 ・現状と課題については、箇条書きにしたほうがわかりやすい。 ・一目で状況がわかる方がよい。
副委員長	・施設によって書きぶりも違うと思う。 ・ご指摘のとおり、わかりやすい方がいいので、線の太さなどについても変えるなどして、見やすいように整理していただきたい。 ・利用状況などについては、赤線で囲まれた部分の考え方が妥当かどうかを議論するための資料という理解でよいかな。
事務局 委員長	・はい。 ・ほかに意見はないか。 ・本日は、他の担当部署の方にも参加いただいているので、一言コメントをいただきたい。
教育総務G	・教育総務グループの浜口です。 ・教育委員会で、今回おられる委員にも参加いただき、令和3年度から2年かけて基本方針を策定したが、補足させていただくと、方針の視点はあくまでも適正規模の検討であった。 ・本市の学校では、大規模化と小規模化が同時進行していることや、幼稚園の人数が減少していることを大きな課題としてとらえた中で、どうい

	った適正規模にしていくかを議論してきた。適正な規模の視点から子どもたちの教育環境をどのように整えていくかを考えたものであり、何年度にどうするかなど、具体的な年次を定めたものではない。 ・ 早急に取組むべき学校と、2段階目、3段階目の学校があり、学校ごとに課題があるという見方をしているが、定めた方針をもとに、適正規模を図っていくために、学校をどうしていくか、幼稚園をどうしていくか、まさに議論している状況である。 ・ 教育委員会として、それら実施方針の策定に動いているので、それがまとまった段階で本策定委員会にもお示しし、公共施設全体の再配置の議論の材料にしてもらいたいと考えている。
社会教育 G	・ 社会教育グループの東野です。 ・ 資料4にある公民館や図書館、社会教育センター、その他にもスポーツ施設などを所管しており、短期で取り組む11施設の多くも該当することから本日は参加させていただいた。今後ともよろしくお願いします。
高齢介護 G	・ 高齢介護グループの福井です。 ・ 老人福祉センターを所管している。高齢者はこれからさらに増えていくので、介護予防や健康増進、生きがいつくりの拠点となっている。 ・ 老人福祉センターの浴場の取り扱い等についても議論いただきたい。
福 祉 G	・ 福祉グループの東です。 ・ 心身障害者及び母子・父子福祉センター、地域活動支援センター等、障がい者の作業所と活動の場を所管している。 ・ 昭和50年頃の障がい者福祉を取り巻く環境を考えると、市がサービスを見つけてきて障がい者にあてがうという措置の側面が強かったが、現在では自由に探してくることができ、株式会社でも経営ができるなど、広くサービスが展開されている状況にある。 ・ 行政サービスに対するニーズが下がり、福祉センターの機能や役割が様変わりしていることも踏まえて、ご議論をいただきたい。
委 員 長	・ 貴重なご意見をいただいた。引き続きよろしくお願い申し上げます。 ・ 最後に議題⑤その他「市民アンケートの位置づけと設問項目等」についてお願いします。
事 務 局 委 員 長 事 務 局	(議案5) その他 ・ 資料説明 ・ 今の説明についてご意見、ご質問等があればお願いします。 ・ A3の表面については、総合計画からの抜粋となっており、大阪狭山市の今後のまちづくりとしてどういうエリアがあるかを記載している。 ・ 赤字で示した施設は、短期で再配置を想定する11施設であり、特にDの福祉・文化拠点に集積していることがわかる。検討中となっている部分は次回の3月までに事務局で中身を記入する。 ・ この表をもってアンケートの導入文にしたいと考えており、次回に中身

	を議論いただいたうえで、修正したものを作成し、市民の皆さんと議員の皆さんにお示ししたいと思っている。 ・補足は以上である。
委 員 事 務 局	・ A～Dの該当エリア内で施設の再配置を行うということか。 ・ そういう意味ではなくて、エリアの考えを落としているだけで、別の地域の施設を複合化させることもありうる。
委 員	・ 今熊地区に集中している状況を踏まえて、そのまま建て替えるか、それを分散させるか、ということか。
事 務 局	・ 新たな用地を取得して公共施設をつくるという考えはあるのか。 ・ 原則、新たな用地を取得する考えはない。 ・ 再配置方針策定の際に、財政面の議論も深めたが、新たな用地を確保するよりも、今ある公共施設の中で集約化を目指していく、そこに焦点を当てて考えているため、特別優れた土地がない限り、難しいと考える。 ・ 大阪狭山市の大動脈は 310 号と府道森屋狭山線であり、この交点となるエリアを中心的な位置づけと考えている。市街化区域の中で公共施設が集積している場所であり、どちらかと言えば分散化していくというよりは、集約していくという考えであり、分散や新たに広げるというイメージではない。
委 員	・ 北のエリアでは人口が増えており、反対にニュータウン地区では減っている。
委 員 長	・ それも合わせて検討できればよい。 ・ 事務局から連絡があればお願いします。
事 務 局	・ 次回の第 3 回策定委員会の日程について、こちらの都合で申し訳ないが、3 月 7 日（木）の午後 13 時 30 分から本庁舎で開催させていただきたい。ご都合はいかがか。
副 委 員 長	・ 15 時からにしていただけると助かる。
委 員 長	・ 次回の委員会は 3 月 7 日（木）15 時から本庁舎で開催ということでお願いします。 ・ 本日の議題は終了したので、これからお時間のある方は今熊地区にある施設の見学会をしたい。
委 員 長	3. 閉会 ・ これにて第 2 回大阪狭山市公共施設再配置計画策定委員会を終了する。 ・ 良いお年をお迎えください。